

ゆうづる (ゆうほう) 優包

春号



〒230-0024

横浜市鶴見区市場下町11-5

指定管理者：社会福祉法人 大樹

横浜市鶴見市場地域ケアプラザ

発行責任者：加藤 賢次

令和2年3月19日発行

HPアドレス：<http://www.taiju.or.jp>

TEL 045-504-1077

FAX 045-500-6677

～地域の皆様が優しさに包まれる

地域包括支援センターを目指します～

活動報告

地域ケア会議を開催しました！

地域ケア会議とは…地域の課題把握と関係者同士の連携を深める会議です。いつまでも住み慣れた地域で安心して日常生活が営むことができるよう横浜市が推進しています。

ゆうづるでは毎年地域の皆さんにご協力いただき、地域ケア会議を開催しています！令和元年度には2回開催しましたのでご報告します。

第1回地域ケア会議（個別レベル） 令和1年 8月 8日（水）10時～12時

参加者：21名（元宮自治会役員、スカイハイツ理事会、民生委員、地域商店、郵便局、医療・介護等の事業所など）

○テーマ「閉じこもりを防ごう」

内容 普段気になっている地域との繋がりが薄くなっていそうな人を皆で共有。

また、地域でボランティアなどの活動に積極的に参加をされてる方とその関係者の方から参加・繋がりのきっかけや思いについて話を頂き、今後町内でどんな事が出来そうか事などを話し合ってみました。

ポイント

- ・ みんなどんな所で過ごしているか（公園、商店、郵便局、ドラッグストア など）
- ・ 気になっても声をかけていいのかが分からない。人と話すのが嫌いな人も。
- ・ それでも、活動の参加のきっかけは声掛けからだった。

★元宮の今後に向けて！

- 祭りや盆踊りなどをきっかけにして参加に繋がるかもしれない。
- 100回会うよりは10回のお茶、1回の酒！

などなど、みなさん様々なご意見をありがとうございました。



第2回地域ケア会議（個別レベル） 令和1年11月28日（木）16時～17時半

参加者：20名（元宮自治会役員、スカイハイツ理事会、診療所、小学校、介護者のつどい、郵便局、地域商店）

○テーマ「つながりを保つ」事例 高齢夫婦（認知症の妻、介護する夫） 場所：パークスホール

内容 認知症が進行し、徘徊の症状も。近所の方が差し入れ等支援。

地域とのつながりを保ち、見守り等安全な環境について検討しました。

介護予防の情報共有

★小学校の色々なボランティア
植栽、お米作りの先生、昔遊びボランティアなど活躍中！



普段の活動の中でゆるやかな見守りをしている方も！
顔の見えるネットワークの再確認ができました

◎こんな意見も…家族の理解促進が大切。危険信号、緊急入所など知りたい。

- ・ 外見では分からない。認知症チェックリストがあると便利。声掛けにつなげる→ゆるやかな見守り
- ・ 変化をキャッチするのは身近な方の場合も。第一相談場所は？→地域包括支援センターへ！再確認！

鶴見市場地域ケアプラザ協力医 雪吹先生の健康コラム

ケアプラザ協力医とは、医療面の相談・助言、医師との連携、保健活動の推進のためにケアプラザに協力する地域のお医者さんです。

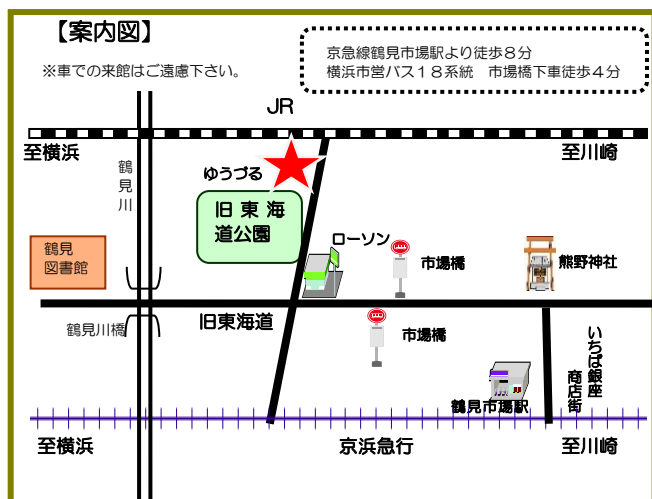


「情けは人の為ならず」

これを「情けをかけるのは人の為にならない。だから、人のことなんか放っておけ。」と解釈する人が多いのだと聴く。本来の意味は「情けを人にかけておけば、巡り巡って自分に良い報いが来る。人に親切にしておけば、必ず良い報いがある。(1999年 広辞苑 第5版)」ということで、「他人(ヒト)への親切は自分の為でもあるのだよ。」という教訓なのだ。困っている人を見たら手を伸べて助けるのは本能の様なもので、将来の自分の損得を考えてするものではない筈だが、子供に「人に優しくすること」を教えるには判り易い。…ところが最近では、親切を仇で返すような事件もあるし、子供には、「知らない人と口をきいちゃいけないよ」とまで、警戒することを教える始末だから、「人のことなんか…」と自分本位の世の中になったのだろうか。

然し、この現代風の考え方の先に、「いじめ」「差別」「引きこもり」「孤独」などの問題が生まれていると思うから心配で、特に高齢者の孤独が問題だ。孤独高齢者が700万人まで増えていると言う。私も親族や友人など身近な人が減って来たから他人事ではないが、“孤独”が健康寿命まで縮めるのだそうで、1日15本の喫煙と同じ位縮めると聞けば医者としても放っておけない。孤立する理由は様々で、自ら求めてそうしている人も多いらしいが、本心なのだろうか。本当は心の繋がりが欲しいのではないのだろうか。本来の人の心は対人関係の上にあることを哲学者も言っていて、普通の心の持ち主だったら、人の情(友情)が欲しい筈なのだ。だから、今孤立している人も一寸頑張って人付き合いをして、出来る範囲で人を助けて、やがてお互いに助け合う様になるのが健康にも良いのだ。お互いに、この教訓の本来の意味を理解して、優しい心で接し合ったら住み良い環境が生まれる筈。そう言えば、ラグビーの“ワンチーム”も東京オリンピックの理念“共生”も芯は同じことだと思う。

平安町 雪吹医院 雪吹周秀



まずは私たちにご相談ください！

私たち地域包括支援センターは、福祉・介護・健康に関する何でも相談所です。困ったことがあったら、とにかくまずはお電話ください。

代表:045(504)1077

相談専用:045(504)1188